

◎ HAIファイナンス&リーシング委員長に中山智夫氏再任 ズッカロ会長が出馬要請、ハンドブックも発刊へ

【Heli-Expo2007報告】世界のヘリコプター業界のより一層の発展のためにはファイナンスおよびリース機能の活用が大きいこと、そのためにファイナンス&リーシング業務の普及が必要であるとして、1995年に世界ヘリコプター協会(HAI)に対し『ファイナンス&リーシング委員会』の創設を提唱し、初代の委員長にITCリーシングの中山智夫社長が就任し、1998年迄の3期に亘って同委員会の委員長を務めたあと退任したが、その後同委員会は活動が停滞、規模の縮小によって、『小委員会』となって『経済委員会』に包含されて主な活動もないままであったが、昨年3月の『ヘリエクスポ2006』開催時にHAIのズッカロ会長、更には、経済委員会のブランドン・バトル委員長から再度出馬要請を受けて、昨年2月に『ファイナンス&リーシング小委員会』の委員長に経済委員会全員の承認を得て就任した。同小委員会の当面の仕事について中山委員長の発言は以下の通りである。

①世界のヘリコプター業界にとって、ファイナンス・リースおよびオペレーティング・リースの手法を積極的に取入れることは極めて重要である。②3,000社に上るHAIのヘリ運航会社を含む会員企業は、もっともっとファイナンス・リースとオペレーティング・リースを活用して、資産のオフバランス化を計り、キャッシュ・フローの改善を計ることは、新たなヘリコプター導入を容易にする。③そうした手法に関し、ヘリ製造メーカー、金融機関、リース会社などが一体となって啓蒙し、より一層の理解を深めてもらうことが必要である。④その為に、同小委員会の主要メンバーが中心となって「ヘリコプター・ファイナンス&リーシングの手引書」を編纂、発行する準備作業をこの一年間行なってきた。

本年5月18日には『小委員会』の主要メンバーがワシントンDCのHAI本部に集まって2日間に亘ってハンドブックの編纂作業を行い、本年秋口のNBAAでの会合を経て、内容の大方の完成を見る予定。編纂されたハンドブックは来年初めに印刷を完了し、来年3月のヒューストンでのHAI年次総会の開催時にHAIメンバー企業に配布される。

なお、同小委員会はHAIの今年6月の役員総会で『委員会』への昇格が承認され、ヘリポート委員会、EMS委員会、経済委員会など合計19の委員会と肩を並べることとなる。